

P2

特集

つながることで次の一步に
～地域を愛する若者が集結！
若者会議大集会～

P3

わくわくげんき

P4～P5

まちなかのひかりとかぜ。

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター（大仙市）
こしゃぐまげ（湯沢市）

P6

その食を巡るストーリー。

集落協議会 × 農業 × 加工品（湯沢市）

P7～P8 インフォメーション

P8 サポートセンタースタッフのつぶやき

P1 今月の表紙「若者が若者に地域を伝える」

12月7日、8日の2日間に亘って行われた「若者会議大集会」。全国から120人もの方が集まりました。昨年12月に重要伝統的建造物保存地区に選定された横手市「増田の蔵」を県内外の方に紹介したいと、若者による実行委員会が増田等のまちあるきツアーを企画。参加した若者の中には、県内に住んでいても初めてこのまちを訪れたという人が少なくありませんでした。雪がひらひら舞う中、参加者は独特な街並みに目を輝かせ、地域の古き良き歴史やそれを守り育てる地元の想いを肌で感じていました。（関連記事：特集_つながることで次の一步に～地域を愛する若者が集結！若者会議大集会～）

つながることで 次の一歩に 地域を愛する若者が集結！ 若者会議大集会



12月7日、8日に横手市が参加しており、現在は県内のあいのの温泉鶴ヶ池荘で12地区でその集まりや活動のあいのの温泉鶴ヶ池荘で12地区でその集まりや活動が展開されています。最近で「つなごう」若者会議大集会は、若者が社会の中で活躍してつなごうとして県外にも大きくその活動が知られるようになってきたり、県外にも同名の若手団体が交流することでお互いのスキルアップを図ると共に、秋田県で行われている集まりが生まれるようになってきました。

「若者会議」の価値を全国に発信することを目的として開催されたものです。止むことなく降り積もる雪が、全国から訪れた120人も若者やその応援団を歓迎しているようなこの日。会場は終始パワーと熱気に包まれていました。秋田県では平成21年度から「若者会議」という場づくりが行われてきました。これは、地域の将来を担う若者たちが自分の住むまちに想いを寄せ、夢や希望を持てる場所にするために自分たちにできることを考え、話し合い、行動を起こす場です。10代から30代くらいまでの高校生、大学生、会社員、主婦、行政職員など、様々な立場の人たちが



▲横手市の高橋大市長もかけつけ「若者を応援していく」と力強いメッセージをくれた

小布施若者会議（長野県小布施町） 共同実行委員長 大宮透さん



町民と全国各地の小布施ファンである若者を巻き込み、2泊3日の講演会、フィールドワーク、ワークショップを開催。この取り組みは町の事業として平成24年からスタートしたもので、参加者が小布施町の魅力を活かしたまちづくりの企画を行い、町へ提言する。県外からの視点を取り入れるところが特徴。町長を筆頭に行政側が大きくこの企画に参画している。若者の声を行政施策に反映させる取り組みとして、全国からも注目を集めている。

静岡2.0（静岡県） 代表 青野みちのさん



静岡県民にとって南海トラフ沖地震の発生は大きな関心事の一つ。このことを真正面から受けとめ、震災が起こる前だからこそできることがあると復興のための足がかりを作る活動を行っている。復興に必要なものは人と人とのつながりであるという考えから、住民同士のつながりを作るための場づくりを実施。交流活動は小学生から高齢者まで幅広い年代を対象にし、気軽に誰でも集える対等な雰囲気づくりを心がけている。

島前高校魅力化プロジェクト（島根県海士町） WE LOVE AKITA メンバー 秋元悠史さん



▶海士町からテレビ電話で参加

人口減少が進む離島・海士町。島唯一の高校を維持させることが島の存続に関わることから、町が島内だけでなく県外からも生徒が集まるような魅力ある高校づくりに取り組んでいる。大仙市出身のWE LOVE AKITAのメンバーでもある秋元悠史さんは、スタッフとしてこの事業に関わる。個人の挑戦を応援してくれるため移住者が多いという海士町。秋元さんみずればこの経験を秋田に持ち帰り活かしたいと奮闘している。

子どもたちと一緒に
楽しめます！

わくわくげんき

Vol.4



4年 伊藤健太 3年 佐藤正樹 3年 遠山^{とほや}智夫
3年 草薙^{くさなぎ}信康 3年 飯田^{いわた}沙津^{さつ}季



*花咲かせプロジェクトの一環として行われたもの。

12月11日、サンサン横手で「びりとブッチィのクラウンシアター」が開催されました。これは地域の子どもたちに本物の文化や芸術に触れて心を豊かにしてほしいという想いのもと、横手おやこ劇場が主催したものです*。当日は雨が降り、肌寒かったにも関わらず、会場には100人を超える人が集まりました。陽気な音楽とともにびり&ブッチィによるショーが始まると、会場は歓声と熱気で満たされていきます。クラウン（道化師）芸を一つ披露するたびに、子どもたちはまるで花が咲いたかのような笑顔を見せました。老若男女誰もが楽しむことができる素敵なショーでした。（記者：伊藤）

横手おやこ劇場 代表 齊藤雅子さん

自らもクラウンの姿でイベントに臨んだ齊藤さん。「子どもたちや保護者にも楽しんでもらえて大成功」と満面の笑みで振り返りました。「私たちは楽しい企画を通し、自分で楽しみを見つけられる子どもや積極的な子どもを育てたい。地域の人たちの協力は大きな力になっている。今後、さらに地域の人や学生にも活動に参加し、活躍してもらえる機会を作っていきたい」と語りました。（記者：遠山）



イエン タウン フォールズ YEN TOWN FOOLS びり&ブッチィさん

道化師として、日本国内はもちろん海外でも活躍しているお二人。元々はソロで活動していましたが10年前にコンビを結成し、老若男女が楽しめるコメディを目指し日々練習に励んでいるといいます。「秋田では初めて公演する。今日はとにかく笑って楽しんでほしい」とびりさん。ブッチィさんは「参加してくれた子どもたちやその家族が家に帰ってからもショーの話題で盛り上がってくれたら嬉しい」と語りました。（記者：草薙）



こころにのこったことをおしえて？

（記者：佐藤、飯田、草薙）

6歳年長 高城^{あきら}聖さん

ピエロさんたちのチョコの取り合いのところがすごくおもしろかったよ。おデブのピエロさん、いっっぱいチョコ

もってんだから。
びっくりしたよ。
ぜんぶおもしろかった
からまたぜったいきてね。



小学3年 遠藤優太さん

バルーンアートや色んなわががすごかった。どうしたらできるようになるのか試してみたいな。

小学2年 遠藤風花さん

手じなとかがっきの
えんそうとか見せてくれたよ。
すごかったの
しかった。



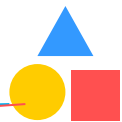
小学4年 篠原彩里さん

手を上げたら当てられて、はじめて皿回しをしました。きん張したけどおもしろかったです。

小学4年 篠原瑛里さん

楽器を演奏すると
変な音になって、
たくさん笑いました。
またショーを
見たいです。





THEME_ボランティア団体/NPO

生きる全ての生命に輝きを

～縄文柴犬の保存継承を通して
自然や環境問題を考える～



DATE_団体情報

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター（大仙市）
代表/新美 治一さん
連絡先/TEL. 0187-68-2976（事務局：五味さん）



しんと降り積もる真っ白な雪の小径。歩を進めると来訪者を警戒したのか犬たちが吠え出しました。大仙市の特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターは柴犬の中でもより野生に近いといわれている縄文柴犬*1の研究と保存継承を行っています。

縄文柴犬から、人間と自然の調和を見る

はじめは30数年前、副理事長の五味靖嘉^{ごみやすよし}さんが買ったばかりの仔犬を立て続けに亡くしたことがきっかけで犬の研究を始めた五味さんが一筋の光明を見出したのが、知人の紹介で出会った縄文柴犬でした。現在、ほとんどの犬は愛玩用として人間に改良され、本来の性質が失われていることを知った五味さん。そこから生き物は元来備わったバランスの中で生きることが最も幸せであると考えようになったといいます。

犬の研究を通して感じた自然と生き物のあるべき姿を社会に発信し、貴重な種の保存をしていきたい。この想いから五味さんと研究仲間は平成21年に団体を設立しました。会員は全国に250人。ホームページを通して大きくその輪が広がりまし

た。毎年行う会員の交流会は互いの絆を深め、活動への励みとなる有意義な時間。全国各地の仲間が犬と共に集い、繁殖や飼育に関する情報交換、勉強会などを行っています。

また会員同士をつなぐ年4回の会報発行にも力を入れています。農家が縄文柴犬を飼うことで熊が警戒して近寄らなくなり農作物被害が無くなった等、犬に関する研究事例や会員から寄せられた近況報告を掲載しています。

五味さんは「犬の活用により野生動物との共存も可能。犬の研究を通して人間が自然の調和を乱してきたことに気づく。将来的に犬を通して多くの人に自然や環境に目を向けてもらい、自然とのつながりを感じつつ、豊かな人間生活を送る社会になることを期待している」と語りました。そこに生きるすべての生命に本来の輝きを。犬を通して、自然や生きとし生るもの全てに目を向ける法人の活動は、自然と調和して生きる豊かな社会構築に向けた原動力として全国に広がりを見せています。☑

*1 全国各地の縄文遺跡から発見された犬の頭骨と類似することから名づけた



THEME_CB (コミュニティビジネス)

元気のなくなってきた地域に活力を



DATE_団体情報

こしゃぐまげ (湯沢市)
代 表/渡部 彰夫さん
連絡先/090-8929-5616

▼湯沢市関口聖ヶ沢 23-3
不定休、昼夜とも予約制 (要問合せ)



地域に元気の出る集まり処を

国道 13 号線を湯沢市関口方面に曲がるとすぐ「こしゃぐまげ」と看板を掲げたお店が見えてきます。

平成 21 年、渡部彰夫さんは景気が低迷し、周り人たちの元気がなくなっていくのを目の当たりにしたことで、自分自身も元気がなくなっていくことを感じました。この状況をなんとかしたいと考えた渡部さんは、元気の出る集まり処を作る構想を始めました。そして 25 年 7 月、人と人が出会い、つながり、食事をしながらおしゃべりや情報交換ができる居場所として「こしゃぐまげ」をオープンさせました。「こしゃぐまげ」とは「おせっかいをする」という意味がある秋田弁。人を楽しませ、元気になってもらうことが好きだという渡部さんの人柄が表れています。

「元気の出る集まり処」という理想の居場所を作るため、店舗にはステージが作られ、歌や演奏、小さな講演会ができる仕様。さらに渡部さん自身も、湯沢市のジオパークガイドや食生活改善推進員の認定を受けました。

自分の想いを形に

「自ら動き、なるべく投資を抑えて手作りで自分の理想を実現させたかった」と言う渡部さん。地域の課題解決が目的となるコミュニティビジネス (CB) は少ない経費を効果的に使う工夫も大事だと感じたそうです。自ら空き店舗を改装しながらコツコツと準備をしてきました。

そんな中で助成金を申請し、活用したことが力になりました。利用した助成金は、第 8 回あきたスギッチファンドです。当初いろいろな想いを整理することに苦労しましたが、自分の想いを人に話したり助成金の申請書をまとめたりすることで、だんだん自分のやりたいことが固まってきたと言います。「やりたいこと、形にしたいことがあっても、それをどう具体化させるか悩んでいる人は多いと思う。そんな方にはぜひ一度支援機関等に相談することを勧めたい」と渡部さん。CB の起業に関する相談は南部市民活動サポートセンターでも受け付けています。ぜひお気軽にお問合せください。☒

その食を巡るストーリー。

～人とヒト、地域をつなぐ、食のおはなし～

vol.09



This Story | 集落協議会 × 農業 × 加工品 (湯沢市皆瀬若畑)

保守的？革新的？

求められる後継者対策の在り方とは

次代の若者不足を嘆く集落は数多く存在します。その対策として、婚活をはじめとした若者向けイベントを実施するムラもあれば、サラリーマン退職者などを対象に永住促進活動を行うムラもあります。ともすれば、それら一種の「変革」とも呼べる能動的な取り組みこそ後継者対策の最たるものだと思えられがちです。

しかしながら、これとは逆に、昔から続く集落の伝統や文化、住環境を地道に守り続けていくことこそ将来的な後継者対策につながるものと考え「いずれ帰ってくるであろう若者たち」のための堅実な活動を行う集落もあります。

山あいの自然が生む郷土の「食財」

旧皆瀬村の中心部から、車で20分。人

の背丈ほどある雪壁に覆われた細い道を辿ると、10戸39人が暮らす若畑集落があります。住民の多くが農業に従事し、特に、山あいの澄んだ環境のもとで作られるお米は「若畑米」として親しまれ、集落の住民にとって郷土の誇りとして位置づけられています。さらに、この「食財」と秘伝の三年味噌を使用した伝統的な加工食品「みそ焼きたんぽ」は若畑の代名詞となっており、その懐かしい味わいは集落の子どもから大人までみな愛するおなじみの味です。また、年に数回、県外のイベントへ^越ぎき露店販売する際には、^炙った味噌の香ばしい匂いに誘われ毎回^{長蛇}の列ができるなど、住民はもとより県内外に多くのファンを生んでいます。

たんぽが紡ぐ次世代と郷土の絆

「たんぽ作りが集落の団結を高めている

」。そう話すのは、若畑の資源を守り、住みよい環境づくりを進める里づくり協議会会長の佐藤栄一さん。普段から協同の精神が強い若畑集落にあって、一つの行事を機に住民総出で取り組むこのたんぽ作りは、それをさらに高める役割を担っています。また、それは同時に、集落を出て行った若者が郷土を想うきっかけにもなっているようで、都市部で行うイベントの際には若畑出身者が「待ってました」とばかりにたんぽ作りを手伝いに来てくれるのだとか。「今は離れて暮らす娘とその旦那が、いずれはここで暮らしたいと言ってくれたよ」と、照れながらも嬉しそうに話す佐藤さん。いつかふるさとに戻る若者たちのために、集落の伝統や環境を守り続けていく一。たんぽの味同様、変わらないこともまた一つの選択肢なのかもしれません。☑

わだのことはわだでやる 若畑里づくり協議会

「わだ（自分たち）のことはわだでやる」をモットーに、集落の全戸が参加し、派手ではないが魅力ある地域づくりを行う。

「小さな村の小さな物産市」を合言葉に、毎年10月に行う「若畑紅葉祭り」では、住民が一丸となって集落の魅力をPRしている。

集落独自で作成したイラストマップ



佐藤栄一会長とその家族



Editor's Recipe
料理好きな編集担当者が考えるちよこっしじぽ!



きのこたっぷり鶏飯

【材料】 米：3合／鶏ささみ：4本／しめじ：1房／まいたけ：1房／筍水煮：1/2本
4人分 絹さや：10本／錦卵：適量／万能ねぎ：適量／白ごま：適量／大葉：適量
海苔：適量／かつお節：20g／しょうゆ：大さじ3／酒：小さじ1／生姜：10g
塩：少々

【作り方】 ①鍋に水650cc入れ沸騰したら火を止めささみを入れふたをし余熱で10分ほどおく／②ゆであがったささみを薄くスライスする／③米をよくとぎザルにうつし水けをきる／④米、カットしたきのこ、たけのこを炊飯ジャーに入れ、①の煮汁にしょうゆ、酒、しょうがを加え炊く／⑤絹さやをさっとゆで冷目で冷やし額をとっておく／⑥水を沸騰させかつお節でダシをとり塩少々で味を調え急須にうつす／⑦炊き上がった④に絹さや、錦糸卵、大葉、万能ねぎ、白ごまをトッピングし完成／⑧お好みで⑥をかけ召し上がれ



INFORMATION

Event イベント情報

TERM

2014/02/15 - 2014/02/26



無料相談会

2/15

働く上での様々な悩みを専門のカウンセラーに相談してみませんか。問題の整理と解決のための情報提供をします。要予約。

日時：2月15日（土）10:00～16:00

場所：南部男女共同参画センター（横手市）

参加費：無料

申込・問合せ：日本産業カウンセラー協会東北支部
秋田県運営部

TEL.080-1694-0764（阿部さん）



劇団 Hozzy and Nancy 第9 回定期公演
蜘蛛の糸／遭難、

2/22

人間の本質を考えさせられる芥川龍之介の作品「蜘蛛の糸」、放課後の職員室で巻き起こるブラックコメディ「遭難、」の2本立て。チケット予約は「劇団ほじなし」で検索！

日時：2月22日（土）**蜘蛛の糸**18:00～18:30**遭難、**18:45～20:45

場所：かまくら館（横手市）

参加費：**前売り**1000円 **当日**1300円

問合せ：劇団 HozzyandNancy TEL.090-7790-9463（齊藤さん）



ピーイング公開講演会

2/15

知的障がいのあるお子さんの育児体験談を通して、障がいのある人たちと共に歩む社会の構築に向けて、一緒に考えていきませんか。

日時：2月15日（土）13:30～15:00

場所：湯沢文化会館 3階会議室

講師：田中秀文さん（公益財団法人モロロジー研究所）

参加費：無料

問合せ：NPO 法人サポートセンター・ピーイング

TEL/FAX.0183-52-3596



“スポーツ”YUKIYOSE世界大会 in よこて

2/23

「雪よせ」に制限時間や距離などの競技性を加えた新しい冬のスポーツイベントを開催します。ぜひ見に来てください！

日時：2月23日（日）10:00～14:00

場所：秋田県立横手高校野球場グラウンド

問合せ：“スポーツ”YUKIYOSE 世界大会 2014in よこて実行委員会

TEL.018-874-9591（特定非営利活動法人トップスポーツコンソーシアム秋田、平日9時～17時）



NPOのための広報活動セミナー

2/21

非営利活動団体向けのフェイスブック講座です。フェイスブックアカウントの事前取得が必要。取得に不安な方、受講したいけどノートパソコンが無い方はご相談ください。

日時：2月21日（金）**基本編**11:00～12:00**活用編**13:00～17:00

場所：南部男女共同参画センター（横手市）

講師：井川大輔さん（NPO 法人 Yokotter）

持ち物：ノートパソコン（無線 LAN 付き）

申込・問合せ：平鹿地域振興局地域企画課 TEL.0182-32-0594



悪徳商法・振り込め詐欺から
身を守るためには？

2/26

悪徳商法・振り込め詐欺の現状と対策について講話で、また良くある犯行手口と対処法をコミカルな寸劇で学びましょう。

日時：2月26日（水）13:30～15:30

場所：南部男女共同参画センター（横手市）

講師：小笠原陽祐さん（横手警察署生活安全課）

NPO 法人県南介護サポートかがやきネット

申込・問合せ：南部男女共同参画センター

TEL.0182-33-7018



INFORMATION

Sugitti スギッチファンド

第10回あきたスギッチファンドの助成団体が決定しました！

去る1月19日に第10回あきたスギッチファンド公開審査会が秋田市の遊学舎で開催されました。審査会当日は秋田市市内にも雪が積りましたが、助成金を獲得するためのプレゼンやその結果を見守るために多くの人が参加しました。

県南地区からは大仙市で若者支援を行う市民活動団体、光希屋が本ファンド30万円コースに応募し、見事に助成を受けることとなりました。今回の助成金を活用し、大仙市内の若者が高齢者の足湯マッサージを3月23日に行う予定です。この助成をきっかけに多くの若者への支援につながるとういいですね。

また3年目を迎える「三国子ども震災支援ファンド」では初めて、福島県から避難してきた当事者の会「秋田避難者おやこの会」が助成を受けることになりました。

今回の審査会では総額310万円、13件の事業が助成金の採択を受けました。助成事業と団体等はあきたスギッチファンドのホームページに掲載されています。

市民活動サポートセンターでは、スギッチファンドの助成に挑戦したい方のご相談に応じています。お気軽にお越しください。また来年度以降もスギッチファンドによる地域活動団体への応援を継続していくために、みなさんのご協力をよろしくお願い致します。☑



INFORMATION

Grant 助成金・関連募集情報

TERM

2014/02/28 - 2014/03/21



福祉・環境・国際協力・災害

第15回社会貢献基金助成

02/28

対象団体：国内に事務所を有し、活動実績が3年以上ある非営利組織（NPO法人、ボランティアグループ等）。定款やしつかりとした会計経理機能を持ち、申請事業に対する自己資金を保有している団体に限る

対象事業：①婚礼・葬儀など儀式文化の調査研究事業 ②高齢者福祉事業 ③障害者福祉事業
④児童福祉事業 ⑤環境文化財保全事業 ⑥国際協力・交流事業（懇親会・パーティは除く）

助成金：200万円まで（調査研究事業のみ100万円まで）

対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

申込締切：平成26年2月28日（金）必着

申込・問合せ：一般財団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金事務局 TEL. 03-3596-0061 FAX.03-3596-8030

関連URL：全日本冠婚葬祭互助協会ホームページ

<http://www.zengokyo.or.jp/>⇒[社会貢献基金制度](#)⇒[募集要項（第15回社会貢献基金助成）](#)



福祉

CO・OP共済 地域ささえあい助成金

03/15

対象団体：生活協同組合とNPO法人、任意団体等（設立予定の団体でも可）の協働グループ。単独での応募は不可。日本国内を主たる活動の場としている団体に限る。

対象事業：①くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する活動 ②命を守り、その人らしい生き方ができるようにする活動
③女性と子どもが生き生きする活動

助成金：100万円まで

助成対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

締切：平成26年3月15日（土）

申込・問合せ：日本コプ共済生活協同組合連合会 TEL. 047-351-3356 FAX. 047-351-5298

関連URL：CO・OP共済連ホームページ

<http://coopkyosai.coop/>⇒[コプ共済の取り組みを見る](#)⇒[地域ささえあい助成](#)



「第5回鳥海高原菜の花まつり」缶バッジのデザインを募集しています！

03/21

鳥海高原や菜の花を題材にし、「鳥海高原菜の花まつり」の思い出の品となるようなバッジのデザインを募集しています。画像形式（jpg、pdf、psd、ai）で一人2作品まで応募可。

応募方法：連絡先（郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、職業もしくは学校名、電話番号）に作品の説明（制作意図）を添えて、下記のメールアドレスにデータを送付

発表：受賞者には個別連絡の上、審査結果を鳥海菜の花まつりホームページで発表

賞品：レストラン「花てまり」お食事券、または、菜種油（菜ピュア）セット

応募期間：平成26年3月21日（金）必着

問合せ：「鳥海高原菜の花まつり」実行委員会 TEL/FAX.0184-44-8625 メール：chokai_nanohana@castle.ocn.ne.jp

関連URL：<http://chokai-nanohana.jimdo.com/>

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

ハンサン

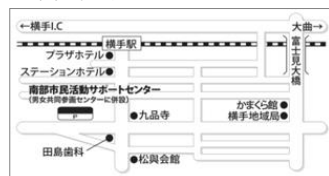
2014年2月10日発行
2月号 VOL.89

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター（南部市民活動サポートセンター）

南部市民活動サポートセンター



〒013-0046 横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7002
FAX.0182-33-7038
E-mail.ssc7002@luck.ocn.ne.jp
<http://www.akita-kenmin.jp/hg030001>

【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

【休館日】木曜日・年末年始（12/29～1/3）

サポセンスタッフの
つみやき VOL.09

会計相談員
今 拓也

いきなりですが、NPOや地域活動団体などを運営しているみなさん。一年間の活動成果をまとめた活動報告書と会計報告書を作ってみませんか。確かに手間はかかりますが、作っておいて損はなし。自分たちの活動をまとめることで内部・外部へ説明ができるようになります。その結果、団体や活動への信頼が厚くなり、協力者が増えることにつながることでしょ。また、活動の予算立てもラクになりますし、助成金や事業受託などの申請書作成時には基礎資料となるなど、良いことがたくさんあります。報告書の形式は基本的に自由ですが、似たような活動をしているNPO法人の報告書を参考にするのが近道だと思います。いずれも、サポセンで相談に応じますので、気軽にいらしてくださいね。